



週刊

こんにちは日本共産党です 八千代市議団ニュース

堀口 明子 ☎047(752)0453 植田 進 ☎047(487)9754
伊原 忠 ☎047(488)7207

市議団ホームページ <http://jcp-yachiyo.jp/>
共産党控室メール kyousan@city.yachiyo.chiba.jp



第299号

2016年12月26日

発行

日本共産党

八千代市議会議員団

八千代市大和田新田

312-5

オスプレイ墜落からわずか6日で飛行再開

起こるべくして起こった事故です。13日夜、沖縄県名護市の民家に近い浅瀬に米海兵隊のオスプレイが墜落しました。開発段階から重大事故が相次ぎ、米国では「未亡人製造機」とさえ呼ばれています。米軍は墜落事故からわずか6日、事故原因の究明はおろか、機体回収も終わらない中で飛行全面再開を強行しました。この暴挙に沖縄をはじめ全国で怒りの声が広がっています。



オスプレイの墜落事故は人ごとではありません。オスプレイの訓練や配備計画は日本全土で進んでいます。全国各地の住民の安全と暮らしに関わる問題です。

抜け穴だらけ“安全性”の日米合意

配備直前の2012年9月、日米両政府はオスプレイの“安全性”に関する日米合意をかわしています。その中には、「人口密集地域上空を避ける」「夜間訓練飛行を制限する」一などが盛り込まれています。しかし、これらはいずれも「できる限り」、「運用上必要な場合を除く」といった“抜け穴”だらけです。実際、沖縄ではオスプレイ配備以降、夜10時以降の夜間訓練が急増しています。

市民の安全への懸念、市長語らず

陸上自衛隊木更津駐屯地を米軍と自衛隊のオスプレイの整備拠点として、来年1月から運用開始が計画されています。12月議会の一般質問で植田進議員は、木更津駐屯地のオスプレイ整備拠点化について秋葉市長に「自衛隊習志野駐屯地をかかえる八千代市にとっても無関心ではられない。整備を終えたオスプレイが試験飛行のために八千代市に飛来することを想定しているのか」と問いました。秋葉市長は「国の動向を注視する」と答えただけで、市民の安全への懸念に触れることはありませんでした。

木更津駐屯地のオスプレイ整備拠点撤回を

11月13日、「オスプレイは木更津に来るな」の1点で、現地木更津基地近くの公園に1300名の県民・市民が集まり怒りの抗議集会を開きました。県民世論の高まりと今回の事故を受け、整備拠点化を容認していた千葉県と木更津市は、「原因が究明するまで陸上自衛隊木更津駐屯地をオスプレイの整備拠点とすることを延期」の要望書を防衛省に提出しました。

日本共産党八千代市議団は、日本からのオスプレイ撤去とともに、陸上自衛隊木更津駐屯地のオスプレイ整備拠点の撤回を強く求めて行きます。